

KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学 広報誌

2012年 3月発行 No.76

若者の声



介護福祉科「認知症の理解」におけるグループワークの様子(撮影:河邊 聡子)

特集

就職活動に向けて

■ 担任から卒業生へ

■ 学科賞受賞者／卒業記念品／上海留学生卒業

■ FD 研修会報告

■ 教員の自己紹介²⁵／先輩から後輩へ²⁵

■ 研究発表会／学友会新役員紹介

■ ボランティア報告／新任教職員紹介／短歌受賞報告／川崎エコプロジェクト

■ インフォメーション

特 集

就 職 活 動 に 向 け て

これから進路を決める みなさんへ



本学は、医療・福祉・保育の専門職養成短期大学として、全国の病院や施設などから高い評価を得ています。

また、本学学生は、教員の指導のもと入学以降、職業人としての将来を見据え研鑽^{けんさん}を積んでいます。

このような伝統が、長年にわたる「就職率100%」という輝かしい実績となって現れています。

2011年度も就職活動は順調に進み、卒業予定者は、希望に燃えて社会への門出を迎えています。

本特集では、1月に開催された放射線技術科の「就職支援講座」と、全学科の就職内定者のワンポイントアドバイスを集めました。これから進路を決める参考にしてください。

就職支援講座
「先輩による講演会」から

検診施設から



松田 崇宏 さん
淳風会 健康管理センター 勤務
(放射線技術科31期生)

❖いつでも就職活動ができるように

ある一定の学力レベルに達していないと就職活動の許可がありません。希望する就職先から求人がきたときに、すぐに就職活動できるよう日頃から勉強してください。

❖先輩や先生から情報をきく

就職希望先には、卒業生が就職している場合が多いです。その先輩と連絡を取り、いろいろな情報を得るのは有効な方法です。また、学内の先生方に何うのもよい方法です。

❖就職試験対策はしっかりと

小論文や一般教養の試験を実施する施設もあります。慌てることのないよう日頃から訓練してください。

卒業生による就職・進学のための
ワンポイントアドバイス

全学的就職支援として、2年次後期から3年次前期の学生を対象に「就職支援講座」を実施しています。その中の「先輩による講演会」では、専門職者として現場で活躍している卒業生に、就職先選びや就職活動についてアドバイスしていただきました。

1月21日(土)に開かれた放射線技術科の「先輩による講演会」では、「卒業生によるワンポイントアドバイス」と題して、4人の卒業生がそれぞれの体験を語ってくれました。2年次生は熱心に聴講し、食い入るようにスライドを見つめていました。「これから就職を考えていくうえでとても参考になった。また、先輩が誇りを持って働いていることが伝わってきて、診療放射線技師という仕事への憧れが強まり、自分も断然やる気ができた」という感想が聞かれました。

進学者から



香川 美紗都 さん
岡山大学 医学部
健康保健学科 学生
(放射線技術科31期生)

❖準備は早めに

国立大学の編入学試験は、8月下旬頃に行われます。8月上旬に前期定期試験、中旬に放射線取扱主任者試験が実施されるため、編入学試験の準備は早くから始めてください。

❖英語力が重要

国立大学では、必ず英語の長文読解があります。この試験がいちばん点差が付きやすいので、英語力をつけることが合格へのポイントとなります。

❖志望動機は明確に

キャリアアップやネームバリューは志望動機としては一般的すぎます。入学してここで何をしたいのか、将来どうしたいのかを明確に願書に書くことが重要です。私は、自分がやりたい研究テーマをもとに志望校を選び、それを志望動機として書きました。ホームページなどを利用して、在籍する教員の研究業績なども調べられます。

総合病院から



渡邊 皇江 さん
岡山労災病院 勤務
(放射線技術科30期生)

❖病院見学を積極的に行う

病院見学は、病院の雰囲気が分かり、その施設の方々に顔を覚えてもらえるチャンスです。ぜひ、病院見学に行ってみてください。

❖挨拶をしっかりする

就職活動ではもちろんですが、就職してから人間関係をつくる基本が挨拶です。私が就職試験のときには、面接官が挨拶をしたことを覚えていてくれました。

❖勉強は早めに

就職活動と並行して国家試験のための勉強もしないといけけないので、余裕をもった計画で勉強を進めることが大切です。

特徴のある専門病院から



鳥越 光義 さん
脳神経センター
大田記念病院 勤務
(放射線技術科32期生)

❖施設の特徴をつかむ

私は、脳神経の専門病院に就職しましたが、施設ごとに力を注いでいる分野や特色があります。施設ごとの特徴を掴み、自分の希望に合った就職先を選ぶことが重要です。

❖過去の就職データを参考にする

就職試験を受けた先輩方が、試験内容を報告書として残してくれています。その報告書を参考に、下調べと準備を行い、就職試験や面接の対策をしっかり行った状態で臨むことが大切です。大学の名前を背負って就職試験を受けることを忘れないようにしましょう。

在学生からの質問

病院の面接でおさえておく
ポイントを教えてください。

- ・どうしてこの病院を希望したのか、具体的かつ明確に志望動機を伝えることが重要です。将来の目標も言えるようにしておきましょう(鳥越さんからの回答)。
- ・履歴書に書いた内容を十分把握しておくことが大切です。履歴書を見ながら質問されることが多いようです(渡邊さんからの回答)。

このあと医療保育科が2月1日、介護福祉科が2月22日、臨床検査科が2月25日、看護科が2月29日に、卒業生や内定者を講師にした同様の講演会を開催しました。

なお、今回の「先輩による講演会」は、本学同窓会(松丘会)の助成をいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

自分の中で大切にしたいこと

中垣 佑月 看護科
日本赤十字社医療センター内定



就職先を決めるとき「自分の中で大切にしたいこと」を意識して選んでほしいと思います。私の場合、実習の課題に追われる中、遠方への就職活動はとても大変でしたが、災害看護や国際救援活動がしたいという強い思いで挑んだ第一志望の病院に合格できました。目標をもって自分の軸がぶれなければ、働き出してもたくさんの壁を乗り越えられると思います。

先輩に聞いてみよう

就職活動を勝ち抜いた先輩たちに、進路の決め方や勉強の仕方など、成功の秘訣を教えてくださいました。就職活動の参考として活かしてください。

就職試験の情報を知る

高橋 音羽 臨床検査科
岡村一心堂病院内定



自分が志望している病院の就職試験の情報をすることは大切だと思います。私は、先輩方の就職試験報告書を早めを確認し、一般教養があることを知り、参考書を買って毎日少しずつ勉強していきました。また、新聞も毎日読むよう心がけました。面接対策は先生方をお願いして練習をしていただきました。早めの対策と毎日の積み重ねが大事ですね。

スケジュールを見通しながら準備を早く

津田 裕香 看護科
鳥取大学医学部附属病院内定



私は、就職先を地元と決めていたので、就職活動は早めに開始しました。面接日が近づくにつれ緊張感が増しましたが、友人の協力もあって面接練習を繰り返したおかげで無事合格できました。早めに就職が決まり、国家試験の勉強に専念できました。全体のスケジュールを見通しながら準備を早くすることで、余裕をもち行動できたことはよかったと思います。

笑顔、あいさつを意識して

林原 愛恵 臨床検査科
岡山済生会総合病院内定



私が就職活動で最も大切にすることは「笑顔であいさつ」です。将来、病院で働き、患者さんや医療スタッフの人達と関わっていくので、気持ちよく、一緒に働きたいと思っていただけるような笑顔、あいさつを意識し、日ごろから実践していました。

また、いろいろな人に就職試験や受験する病院のことを聴き、情報を得ることも大切だと思います。前向きな姿勢と強い気持ちが合格につながります。

より明確な目標を見つけよう

松本 晃 看護科
川崎医科大学附属病院内定



まずは、自分のやりたいこと、自分がどの方向に進みたいのかを見つけることが大切です。そして、実際に病院のHPで調べる、病院見学会へ参加するなどの行動を起こすことで、漠然とした思いを具体的なものに変えていくことができます。僕はインターンシップにも参加しました。そこで、より明確な目標を見つけることができ、就職活動に活かすことができました。

就職活動成功への道 担当教員からのアドバイス①



就職専門委員会 看護科 岡田 初恵

進路活動をする上で大切なのは、以下の3点をよく観ることです。

1. 自分を観る

あなたはどんな人ですか。自分が思う自分像を書き出してみましょう。次にあなたをよく知る周りの人にも尋ねてみましょう。自分が就きたい部署と自分に合った部署は違うかもしれませんよ。

2. 就職先を観る

ホームページや資料に目を通し、施設に足を運びます。特に職場体験ができるインターンシップはお勧めで、スタッフが大切にしていることがわかります。それだけではなく、施設の抱えている課題に着目しながら参加することも大切です。

3. 自分と就職先をつないで観る

就職先を探し始めると、予想以上の豊かさや目新しい取り組みについて目がいきます。ここでもう一度自分を観てみましょう。あなたはどんな人で何を大切にしたいと思っていましたか。クールダウンして「再確認！」です。

諦めず 自分の思いを伝えて

熊村 有香 介護福祉科
多可赤十字老人保健施設内定

中学の頃から馴染みがあり憧れであった施設への就職が決まりました。就職試験は、1ヶ月間の施設実習の最中で、先生との面接練習が一度しかできないまま試験に挑みました。事前課題であった小論文は、先生の手を借りながら自分の考えや思いを精一杯込めました。アタフタした就職試験となりましたが、諦めず自分の思いを伝えることが大切であったと思います。



就職活動を社会人の 最初の一步に

横野 優 放射線技術科
心臓病センター 榊原病院内定

就職活動を学生生活最後の課題としてではなく、社会人の最初の一步としてとらえ、面接では、その病院に勤め、将来を見据えどうしたいのかを具体的に伝えることが重要であると思いました。また、普段から自分の中にある気持ちを、少しずつでも言葉で表現することによって、今の自分が一番したいことに気づけ、納得して就職活動を行うことができると思います。



理解できるまで とことん取り組もう

吉松 加奈 医療保育科
岡山市立幼稚園・保育所内定

私が大切にしたいことは、理解できるまでとことん取り組む気持ちです。分からないことがあれば、分かるまで先生に教えていただきました。ピアノの練習でも毎日弾き、先生からたくさん助言をいただきました。就職活動を通して、ただ弾いていたピアノも今では本当にうまくなりたと思うようになりました。先生方は試験勉強だけではなく、社会に出る上で必要なことも教えてくださいます。とても感謝しています。



飾らないこと

中山 健人 放射線技術科
川崎医科大学附属病院内定

就職活動をするにあたり、私が一番大切だと思うのは「飾らないこと」です。自分を大きく見せようとする力が入り緊張してしまうと思うので、まずは今の自分を認めてあげることから始めました。自分を飾らずありのままに勝負すれば、面接も緊張することなく乗り越えることができると思います。



意志を強く持ち、 誰にも負けない努力を

財津 あかり 医療保育科
国立病院機構九州ブロック内定

「そこで働きたい」という思いを強く持つようにしました。そうすることで、筆記や面接の練習も前向きに取り組み、面接では自分の思いをしっかりと伝えられると思います。また、学んだことや面接の練習でいただいたアドバイスは、その日のうちに自分の言葉でまとめ直しました。意志を強く持ち、誰にも負けないくらい努力することが大切だと思います。



自分の思いを明確に

平田 恵美 介護福祉科
シルバーセンター後案内定

大切なことは、自分の「介護観」に適しているかということだと思います。自分はどんな介護がしたいのか、どんな介護福祉士になりたいのかを考えた時、この施設で実現できるかを想像します。私は、実習先施設を受けましたが、実習中に感じたことやこの施設に就職してどう利用者の方と接していきたいかを、自分の言葉で語ることができました。就職活動では、自分の思いを明確にし、伝えることが重要だと思います。



就職活動成功への道 担当教員からのアドバイス②



「敵を知り己を知らば百戦危うからず」

就職専門委員会 医療保育科 橋本 勇人

これは、中国の孫子の兵法の有名な一節です。就職に関してもうならば、「己を知り敵を知らば百戦危うからず」という順序になると思います。

まず、「己」すなわち自分の特徴を徹底的に知る必要があります。その際、長所・強さに注目します。大したことのないように思

える場合でも、それに気付くあなたの感性自体も強みです。そして、自分の弱点を補いましょう。弱点が分かる感性も、やはり大切です。

次は、敵（就職先）を知ること。就職先の内容を知ること大切ですが、採用人数等から、無難にまとめるのか、思い切って攻めるのかの判断も大切です。

そして最後に、「悪いけれど、私はこういう人間です」と主張できることです。何も知らないで自己主張するのと、思い悩んだうえで自己主張するのでは、外見は同じでも重みが違います。

就職は、初めてぶつかる「相手のいる関門」。就職活動の成功と成長を期待しています。

担任から
卒業生へ

卒業おめでとう

Message



看護科三年担任

田邊 美津子

卒業おめでとうござ
います。今、どん
な気持ちですか。こ
の学園生活の中で喜

びも悲しみも経験しまし
たね。ときには超えられ
ないほどの壁にもぶつかり
ましたよね。それは忘れ
られない思い出であり、
宝物でもあります。これ
から沢山の病む人に対
して、声なき声を聴い
ていくでしょう。ここ
で学んだことを活かし、
活躍されることを祈つ
ています。途方にくれ
迷った時には、どうぞ
お越しください。



看護科三年担任

岡田みどり

ご卒業おめでとう
ございます。看護を
学ぶ者、誰もが通る

道とはいえ、三年次の臨地実習、国試受験は険しい山となつて皆さんの前に立ちほだかりましたね。途中で投げ出したときもあつたでしょう。しかし、「最後まで諦めない」この思いがあつたからこそ、卒業のゴールを切ることできたのです。これから困難にはぶつかります。何があつても挫けず、自分を信じ、そして、今すべきことは何かを考え邁進してください。



看護科三年副担任

松本明美



看護科三年副担任

沖田 聖枝

三年前の四月、初めて
の副担任という
役割に緊張してい
た私ですが、皆さ
んの



のおかげで笑いの絶えない三年間を過ご

すことができました。本当にありがとうございます。皆さんはこれから社会に出て、楽しいことばかりではなく、壁にぶつかることがあるかもしれません。しかし失敗を恐れず、まずは一歩踏み出してください。いつも前向きに、笑顔を忘れないで、自分を大切に！皆さんのご活躍をお祈りしています。



臨床検査科三年担任

近末久美子

あなたたちは知識も技術も大きく成長しました。あなたたちはひと回りもふた回りも器量の大きな人間に成長しました。でも…あなたたちはもっとしなやかで強い大人になります。未来を自分の力で切り拓いていくことを応援しています。



臨床検査科三年担任

中原貴子

ご卒業おめでとう
ございます。皆さん
にはたくさんご迷惑
をおかけしましたが



その分たくましく成長されたことと思
います。卒業後の数年が大切です。努
力を怠らず、自身の力を過信すること
なく、常に謙虚でいてください。そし
て、笑顔を忘れず愛される医療にな
ってください。皆さんに出会えて良か
ったです。ご活躍をお祈りしています。

臨床検査科三年副担任

泉
礼司



二年前からの初めの副担任で、私もいろいろ勉強させていただき、三十七期

生の皆さんには感謝しております。今後皆さんも社会人として仕事につかれますが、人として自らの心を安んじ、まわりの人に安心を与えられる自分になつてください。そのことは必ず皆さんへの信頼を築くことになるはずです。本学卒業生として誇りを持って、臨床検査技師として、人として成長されていくことを願っております。

三十七期の先生



放射線技術科三年担任

紺野 勝信

三十二・三十期
生から単位制になり、
皆さんは厳しい勉強
をしてきたのではな
いかと思います。残念ながら、三年間
で卒業できないクラスメートも少なく
ありませんでした。担任として、大い
に反省しているところです。定期試験
臨床実習、卒業研究そして卒業試験と
次々と関門を乗り越えた経験を活かし、
皆さんの社会での活躍を心よりお祈り
しています。

放射線技術科三年副担任

林 明子



ご卒業おめでとうございます。入学時から今日までを振り返っていかがでしょう。

うか。おそらく全く悔いがない人はいないと思います。あの時こうしておけば良かった、ということがたくさんあるのではないのでしょうか。でも、それだと思っています。人は常に成長し続けていく生き物ですから、これからも多くの経験をする中で、そのたびに後悔して、次のステップへと成長を続けて下さい。

介護福祉科二年担任

河邊 聡子



個性あふれた十期生の皆さんと過ごすことができた二年間、皆さんにとっても学

びの多い期間だったと思いますが、私にとってもとても勉強になり充実した期間でした。四月からはそれぞれの道を歩みますが、無理難題な仕事を任される時が来るかも。でも、それはあなたが飛躍的に活躍するチャンスです。前向きに捉え、恐れず取り組みましょう。あなたが挑戦すれば周りは必ず助けてくれます。

医療保育科三年担任

岡田 恵子



ご卒業おめでとうございます。私は、皆さんにこれから置かれた所で、自分の

花を精一杯咲かせてほしいと願っています。花を咲かせるのは、若い頃だけでなく何歳になっても輝いていてほしいです。大輪のバラでなくても、風に打たれた道端のたんぽぽに私たちは心打たれ、和まされます。どうぞ精一杯、これから自分の美しい花を咲かせてください。

医療保育科三年担任

橋本 勇人



思い返せば、三年前の入学式で「はい」と体育館中に響き渡る返事をしてい

たのが、皆さん医療保育科五期生。保育所・施設・幼稚園・病院などでの実習や、オペレッタ公演、就職試験対策など、本当に全力でとり組んで、そして成長してくれました。私自身、皆さんの担任をさせていただいたことを誇りに思っています。卒業後は、健康に気を付け、「頑張れる範囲で」頑張ってください。



上海から来学した留学生2名と研究生2名が、それぞれの留学期間を無事に終え、帰国の途につきました。

今後益々のご活躍をお祈りします。

栄えある 学科賞 受賞予定者

平成23年度卒業証書・学位記授与式は3月15日に举行され、各学科の成績優秀者に「学科賞」が贈られます。



留学生 張 莉敏
(本学看護科)



留学生 沈 昕之
(本学看護科)



看護科
原田 佳織



臨床検査科
豊丸 えり奈



放射線技術科
今泉 大將



介護福祉科
三好 優香



医療保育科
飯田 千晴



研究生 焦 建利
(川崎医療福祉大学
医療情報学科)



研究生 潘 好室
(本学臨床検査科)

平成23年度卒業生から寄贈

卒業寄付として「正門付近の外灯2基」および「体育館講義室と事務部とをつなぐインターフォン一式」が寄贈されました。本学からは、卒業生への記念品として「ネームペン」が贈られます。



これからの川崎医療短期大学の「授業」について語ろう

FD・SD委員会 委員長 下田 健治

本学FD・SD委員会は、平成二十三年度「これからの川崎医療短期大学の『授業』について語ろう」というメインテーマを掲げ、表のような連続七回のFD研修会を実施しています。FD研修会とは、教員組織（ファカルティー）の教師力向上（ディベロップメント）のための計画的な研修会です。

導入となる第一回と第二回では、教員同士がとにかく授業について「語る」ことをめざし、授業の悩みやアイデア、現在の学生の特徴などに関するグループ討議を行いました。第三回～第五回では、授業改善に役立つ情報を「聴く」ことをテーマに、スタディノートやポートフォリオの導入など授業改善の取り組みや、入学者の高校までの学習状況等に関する情報交換を行いました。第六回は、外部の教員によるFDに関する総合的な講演会を実施するとともに、本年度の取り組みを「振り返る」ことを計画しています。

今年度の研修会は、まだまだ手探りの状態ですが、教員同士が日頃感じている授業に関する悩みを分かち合い、授業改善のためのアイデアを共有する貴重な機会となっています。来年度以降も、年4回程度の研修会を継続したいと思っています。

今年度、本学はディプロマ・ポリシー（学位

授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）を策定しました。FD研修会もそれに対応し、平成二十四年度「三つのポリシーを実効性のあるものに」、平成二十五年年度「到達目標（ラーニング・アウトカム）を実現する授業構成」をメインテーマとし、各ポリシーを実現する授業の在り方を考えていく予定です。



▲第4回開催時の会場の様子

平成23年度FD研修会（全7回）

	開催日時	研修内容・担当講師
第1回	2011年6月30日（木） 16:00～17:00	総論「授業の悩み・アイデアを共有しましょう」 講師：中原 朋生（医療保育科）
第2回	2011年8月3日（水） 16:00～17:15	対象の理解「現在の学生を共に理解しよう」 講師：中原 朋生（医療保育科）
第3回	2011年9月28日（水） 13:00～14:15	教育内容論「教育課程における担当授業の位置づけを探る」 講師：中原 朋生（医療保育科）
第4回	2011年10月26日（水） 16:00～17:15	教育方法論1「教材・教具の効果的な活用方法を考える」 講師：近末 久美子（臨床検査科）
第5回	2011年12月6日（火） 16:00～17:15	教育方法論2「高校までの学習状況を踏まえた効果的な指導法を探る」 講師：大高 正憲、山田 篤、渡辺 哲夫（事務部）
第6回	2012年2月3日（金） 16:00～17:15	教育評価論「大学における授業づくりと評価のあり方」 講師：桑原 敏典（岡山大学大学院 教育学研究科）
第7回	2012年3月9日（金） 16:00～17:15	取組のまとめ「これからの授業について語ろう」 講師：中原 朋生（医療保育科）

教員の自己紹介②

「念ずれば花ひらく」



医療保育科 教授 寺田 喜平

私は医療保育科の教員です。また、川崎医科大学附属病院小児科、院内感染対策室や医療保育室でも働いています。

中学生の時に大病を患ったことが契機で医師を志しました。また、医師になつてからは留学して研究したいという夢を持っていました。しかし、どうしても夢を叶えられるのが分からず、十年以上も実現しそうにありませんでした。ある患者さんとの出会いから、その病気を研究したいという思いが強くなりました。一大決心が必要でしたが、自分で留学先を探してスタンフォード大学小児科教授に留学したい旨の手紙を書きました。その後、留学と研究生活が始まり、今日に至っています。



▲夢を思い続けよう

私の実家には「念ずれば花ひらく」という詩人の坂村真民さんしんみんの色紙が、子どもの頃から飾られていました。花にいくら思いを込めても咲くわけがありません。その頃、ずっと変な言葉だと思っていました。花とは、本当の花ではなく、心の中にある夢なのです。私自身が実感したことは、夢は一生懸命に念ずること、思い続けることによって叶うということでした。

今、日本は東北大震災、世界的な景気後退など、明るい話題が少ないように思えます。そんな時こそ、自分の将来の夢をしっかりと思い描き、それに近づくように少しずつ努力することが大事です。実現が遠そうな夢も願い、努力すると、きっと叶うと思います。ぜひ皆さんも夢見る学生であってほしいと願っています。きっと念ずれば花ひらきます。



▲川崎医科大学附属病院の医療保育室にて

先輩から後輩へ②

「小さなことに気づき、
広い心で関わる」



医療法人明芳会 佐藤病院 介護福祉士
藤原 裕美子(介護福祉科5期生)

私は介護福祉士の資格を取得し五年になりますが、卒業以来、医療療養病床と介護療養病床を持つ病院で勤務しています。卒業当時、介護福祉施設へ就職する友人が多い中、医療的なことへの理解を深めたいと思い病院への就職を決めました。この選択は、私自身に大きなものを得る機会を与えてくれたと思っています。

病棟の患者さんの様子は様々で、当然のことながら医療依存度の高い患者さんが多く、点滴・酸素療法・気管切開・経管栄養などを受けていらつしやいます。なかには認知症の患者さんもうらつしやいます。私たちの病棟では介護福祉士は、看護師とともに



▲病院でのクリスマス会の様子

連携して業務をこなし患者さんと関わっています。そのため生活支援としてのケア実践に加え、医療的ケアも日常的に行います。就職した当初は、初めてのことがばかりで不安や戸惑いを感じましたが、今ではずいぶん慣れました。

患者さんをどう理解し、関わっていくかということについては、どのような場であっても変わらないと思います。一人ひとりの病名・介護度・性格などの小さな情報を手掛かりに、患者理解を始めますが、ここで看護・介護どちらにも同様に求められているのは、患者さんを知ろうとする姿勢であり、それに「観察力」を伴わせることです。その人を知ろうとしなければ関わりを深めることはできません。そして「観察力」を生かし、看護・介護がお互いに情報交換を行うことで、最良のケアが提供できます。私たちの病棟でもよい良いチームケアを目指して、情報の共有と勉強会の実施をしています。

今後、要介護者の重度化により医療・福祉の現場は変化をせざるをえないといわれています。生活援助を基盤に据えつつも、医療や認知症の知識を持つことが大切だと日々の実践を通して痛感しています。私はこれからも小さなことに気づき、かつ広い心で患者さんに関わることができるようがんばっていききたいと思っています。

研究発表会

放射線技術科三年 靄 あかね

平成二十三年十二月三日(土)に、第十五回卒業研究発表会が開催され計十九演題の口頭発表がありました。

私たちは、MRI検査を担当する指導教員のもと「拡散強調画像におけるシリコンアーチファクト低減に関する検討」という課題で研究を進め、小児の頭部MRI検査において、撮影中に動かないようシリコン固定具を使用した際、画像中に発生するアーチファクト(偽像)を低減する方法を見付けることができました。データを解析していく作業はとても大変でしたが、研究と発表の成果が認められ最優秀賞をいただくことができました。

また、指導教員の勧めもあり、中四国放射線医療技術フォーラムで学会発表しました。多くの聴衆を前にした発表はとても緊張しましたが、卒業後もこの経験を生かせるよう研究を続けていきたいと思えます。



最優秀賞の賞状を手に(右側:横野 優さん、中央:靄 あかねさん、左側:好原 あゆこさん)

今回の卒業研究発表会を終え、大きな達成感と喜びを感じています。このような機会を与えてくださった先生方に深く感謝いたします。

臨床検査科三年 宮尾 麻美

平成二十三年十二月十日(土)に、第十回臨床検査科臨床実習研究発表会を開催しました。二会場に分かれて計三十三演題の口頭発表がありました。

臨床検査科では、二年生後期から三年生前期の約一年間、病院実習を行い、臨床上的な知識や技術を高め、応用力を身につけます。その後、十週間の臨床実習で、各部署に分かれ、実験や症例検討、データの収集・解析などを行い、結果をまとめます。研究発表会では、案内状の作成、研究論文集の編集、発表会の会場準備、当日の運営など研究委員が中心となって企画・運営を行います。これと並行して国家試験の準備、就職活動などを行わなければならないため、とても多忙でした。

発表会当日は、多くの指導者の方や学生の皆さんに集まっていたとき、緊張感のある良い発表会になりました。また、研究発表会開催にあたり、お世話になったすべての方々に心よりお礼申し上げます。



発表会を終えて

学友会
— 新役員紹介 —

学友会会長

看護科 1年
友宗 千春

皆さん、こんにちは。私が新しく学友会会長に決まりました友宗千春です。

入学して一年も経っておらず、まだまだわからないことが多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、皆さんが有意義で充実した学生生活を送ることができるよう、役員一同、精一杯がんばりますので、よろしく願います。

さて、今回は、学友会新役員について紹介します。平成二十三年度学園祭終了後、先輩方を中心に全役員で議論を重ねて新役員候補をあげました。新役員は、学生の皆さんによる信任を得て、現在、看護科、臨床検査科、放射線技術科、医療保育科の二十二名で活動しています。学科の壁を越えてとても仲が良く、切磋琢磨し、お互いを高め合い刺激し合うことのできる仲間です。四月の「新入生歓迎ガイダンス」、五月の「スポーツ大会」、十月の「川崎学園祭」、十二月の「クリスマスパーティー」など、皆さんが楽しく過ごせるよう、また大学全体で盛り上がりつついけるよう、力を合わせて運営していきます。

ます。

さまざまな行事の中でも、学園祭は特に大きなイベントです。学園祭に向けては、今から少しずつ準備を進めています。もちろん、一つの行事を成功させるためには、役員の方だけでなく、学生を始めとして大学全体で取り組んでいく必要があります。よりすばらしい学園祭を作り上げていきたいと思えますので、ご協力よろしくお願い致します。



学友会新役員



東日本大震災のボランティア活動を通して

看護科二年 梨木 玲香



私は夏休み中、市民グループの活動に参加し、宮城県石巻市でボランティア活動を行いました。ボランティアの参加者は五十人程度で、ほとんどが大学生でした。参加者の多くは被災地の役に立ちたいという思いが強く、大学のサークルで被災地に物資を送る活動をしている人などいました。

した。

活動内容は、参加者全員が持ち寄った野菜を被災地の方々に送ることや、がれきや泥を撤去した後に、感染症を予防するための消毒を撒布するなど、現地の人と連携して行いました。泥は土嚢袋に詰め、がれきや危険物はまとめて片付けました。津波に襲われた地域は

破傷風に感染する危険があり、作業中は釘などを踏まないように注意が必要でした。作業が終了した後、現地の方と話す機会もありま



一階の壁が流された家

震災直後は三日間海水が引かず、屋根に登って助けを待ったことや、水が引いたとき、道には犠牲になった方のご遺体があふれ、そのご



津波で壁が流された工場

遺体を皆で広場に運んだことなどを聞き、その悲慘さが胸にせまりました。また、大勢のボランティアが足を運んで来てくれることで、被災地の方々は見捨てられていないと感じ、とても励みになると話されていました。

今回のボランティア活動を通して、被災地では募金や物資の支援だけでなく、人の力や思いやりを求められているのだと感じました。これからもボランティア活動を続け、被災地の役に立ちたいと思いました。

地球温暖化対策
ワーキング
グループだより



川崎エコプロジェクト

傘消費大国 ジャパン

“なでしこジャパン”にあやかるわけではありませんが、日本は“傘消費大国ジャパン”といってもよいほど傘の消費数は世界でナンバーワン。なんと年間1億3,000万本が使い捨てられ、しかもそのうちの約90%が、石油を原料にしたビニール傘というではありませんか。驚く数字です。そういえば、本学内でもポイ捨て状態のビニール傘がちよいちょい見受けられますね。リサイクルや環境保全を考え合わせると、傘を捨てるということは“もったいないコト”です。もちろん、不見識なコトです。

そうそう昭和20年代まではこんな風景が見られました。「こうもり傘の張り替えい、こうもり傘の張り替えい」と声をかけながら街を歩き回る職人と、街頭でこうもり傘と呼ばれた洋傘の修理をしている職人の姿です。ポイ捨ての現代から考えると、ウソみたいな美しい素朴な風景ではありませんか。“節約・エコ大国ジャパン”と呼ばれるような国づくりをしたいものです。

新任教職員紹介

本学の仲間になった教職員の方を紹介します。



伊東 克能 放射線技術科 教授

画像診断では診断医の能力も重要ですが、精度の高い診断のためには、元となる画像のクオリティーがより重要となります。自分の撮像した画像に自信と責任が持てる診療放射線技師を目指して、一緒にがんばりましょう。

短歌受賞報告

介護福祉科1年の宮島理佐さんが、平成23年度「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」（宮崎県社会福祉協議会主催）において、高い評価を受け佳作を受賞、『老いて歌おう2011』（鉾脈社）にも掲載されました。歌は、実習施設での体験から生まれたものです。



「帰ります」「世話になった」と去っていく一周歩いて「あらこんには」

平成24年度

公開講座

第 1 回

講座名:「身の回りにおける様々な放射線
～放射線測定を体験してみよう～」

講 師: 村中 明 (本学放射線技術科 教授)
日 時: 平成24年6月16日(土) 10:00～
会 場: 本学体育館101教室

第 2 回

講座名:「自立生活を支える介護予防」

講 師: 未定
日 時: 平成24年8月18日(土) 10:00～
会 場: 本学体育館101教室

第 3 回

講座名:「発達心理学で考える思春期の親心・子心」(予定)

講 師: 神垣 彬子 (医療保育科 助教)
日 時: 平成24年10月6日(土) 10:00～
会 場: 本学体育館102教室

平成
24年度

オープンキャンパス

模擬授業・体験実習などを通じて、本学の特色を是非、体感してください！
保護者・教員の皆さまもお気軽にお越しください。事前の参加予約は不要です。
(当日駐車場無料、第1回～第4回は中庄駅から無料送迎バスあり)

	開催日時	備 考
第1回	5月27日(日) 13:00～16:00	
第2回	6月23日(土) 13:00～16:00	
第3回	7月21日(土) 13:00～16:00	川崎医科大学附属病院見学会 (臨床検査科・医療保育科)
	7月22日(日) 10:00～15:00	川崎医科大学附属病院見学会 (臨床検査科・放射線技術科)
第4回	8月18日(土) 13:00～16:00	川崎医科大学附属病院見学会 (臨床検査科)
第5回	10月6日(土) 9:00～15:00	川崎医科大学附属病院見学会 (放射線技術科)
	10月7日(日) 9:00～15:00	

なお、学校見学は随時受け付けています。その他詳細は、教務課までお問い合わせください。
【TEL:086-464-1033】(平日8:30～17:00、土曜8:30～12:00)

主要行事 (4月～6月)

4月 2日 新入生オリエンテーション(～6)
// 看護科3年臨床実習開始(～9/28)
3日 放射線技術科3年臨床実習開始(～7/26)
5日 新入生健康診断(～6)
7日 入学式
14日 日本学生支援機構奨学金説明会

5月 9日 介護福祉科2年介護実習Ⅲ開始
(毎週水曜)(～7/11)
12日 スポーツ大会
27日 第1回オープンキャンパス
28日 医療保育科3年幼稚園実習開始(～6/24)

6月 1日 学園創立記念日
12日 介護福祉科1年介護実習Ⅰ開始
(毎週火・水曜)(～7/11)
16日 第1回公開講座
19日 医療保育科保育実習開始式
20日 医療保育科2年保育実習Ⅰ開始(～30)
23日 第2回オープンキャンパス

一般入試前期結果

平成24年度 一般入試前期結果 試験日:2月5日(日) 合格発表:2月10日(金)

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	介護福祉科	医療保育科	計
募集人員(名)	30	28	30	10	10	108
志願者数(名)	154	114	112	4	21	405
志願倍率(倍)	5.1	4.1	3.7	0.4	2.1	3.8
合格者数(名)	50	52	57	3	13	175

平成25年度の入試概要は6月以降に本学ホームページで公表します。詳細については、学生募集要項でご確認ください。

入 試 に (教務課)
関 する TEL:086-464-1033
問 合 せ 先 Eメール:nyushi@jc.kawasaki-m.ac.jp

学 生 表 彰

日本介護福祉士養成施設協会 会 長 賞 川上 郁恵
全国保育士養成協議会 会 長 表彰 中上 汐里

川崎医療短期大学広報誌
「若きいのち」(76号)

2012年3月発行

編集発行: 広報誌編集委員会

天野 貴司 (放射線技術科・委員長)
橋本 美香 (一般教養・副委員長)
名木田 恵理子 (一般教養)
重田 崇之 (一般教養)
滝本 茂子 (看護科)
永瀬 澄香 (臨床検査科)
河邊 聡子 (介護福祉科)
中井 靖 (医療保育科)
山田 篤 (庶務課)
重政 有里 (庶務課・書記)

写真協力: 二葉写真館

印 刷: 友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話: 086-464-1032 (庶務課)

Eメール: kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

編 集 後 記

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業は人生の門出であり、就職へのスタートとして、それぞれが様々な思いを抱かれていますことでしょう。

今回の特集では、就職活動を勝ち抜いた先輩たちが、皆さんにぜひ同じ医療の道を歩んでほしいと懇願する声援をお届けしています。就職合格に向けて成功の秘訣を熱く熱く語っています。先輩たちの言葉「ワンポイントアドバイス」をぜひ読んでください。これから始める就職活動に向けて、まずは一通り読んでみる価値が十二分にあります！そして、先輩に引き続き就職合格への道を歩まれるよう祈願しています。

広報誌の作成に向けては、年度末のお忙しい中、多くの方々に執筆をご依頼し快く引き受けていただき深謝いたしております。また、完成までの過程においては、多くの方々との「絆」を強く感じ、ご支援ご協力いただきましたこと深く感謝申し上げます。

最後になりましたが私事で想うところがあり、短大の庭に壮大に咲き誇る桜が大好きで、「桜」の写真を皆様にお届けします。

(滝本 茂子)